

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

| Platinum | Price | Date |
|----------|--------|-----------|
| Open | 813.00 | 2020/7/6 |
| High | 860.76 | 2020/7/9 |
| Low | 813.00 | 2020/7/6 |
| Close | 827.00 | 2020/7/10 |

円建て 円/グラム

| Platinum | Price | Date |
|----------|---------|-----------|
| Open | 2811.00 | 2020/7/6 |
| High | 2970.00 | 2020/7/9 |
| Low | 2811.00 | 2020/7/6 |
| Close | 2842.00 | 2020/7/10 |

ドル建て ドル/TOZ

| Palladium | Price | Date |
|-----------|---------|-----------|
| Open | 1925.00 | 2020/7/6 |
| High | 2001.00 | 2020/7/9 |
| Low | 1907.00 | 2020/7/9 |
| Close | 1973.00 | 2020/7/10 |

円建て 円/グラム

| Palladium | Price | Date |
|-----------|---------|-----------|
| Open | 6653.00 | 2020/7/6 |
| High | 6897.00 | 2020/7/9 |
| Low | 6591.00 | 2020/7/9 |
| Close | 6781.00 | 2020/7/10 |

ニュースエクスプレス

依然低レベルながら上昇するプラチナ価格、2020年の損失をカバー

先週水曜日のヨハネスブルグ証券取引所におけるプラチナの高騰は2020年の損失を全てカバーするレベルとなり、またゴールド価格も心理的に重要な意味合いを持つ1,800ドル/オンスの壁をついに打破。新型コロナウイルス感染症が引き続き先行き不安な市場に影響を与えている事実を再認識させることとなった。

新型コロナウイルス感染症が世界経済に与える影響が明らかになりつつあった3月19日、プラチナは数年来の底値を記録したが、それ以来、安全資産への回避と経済活動の再開で価格は少しずつ上昇。Impala は好調が目立って9.56% 上昇して136.57ランドに、Sibanye-Stillwaterと Northam はともに 5.25% の上昇でそれぞれ 41.28ランド、と130ランド。アングロ・アメリカン・プラチナムは 2.86%上昇して1,367.98ランド、Royal Bafokeng は0.95% 上昇の37ランド。

(ソース: <https://www.businesslive.co.za/bd/markets/2020-07-08-market-wrap-platinum-miners-erase-2020-losses-despite-still-lower-metal-price/>)

貴金属の消費者需要、史上最高に迫る

2011年以来、ゴールドが1,800ドル/オンスを初めて超えた7月8日、カナダの大手貴金属ブリーチンディーラーのもとには史上最高レベルに近い消費者需要が集まった。

ブリティッシュコロンビア州サレーにあるBorder Gold Corp社のマネージングディレクター、Robert Levy氏は、今後の王立カナダ造幣局の2020年第2四半期決算書で、さらに関心が高まっている状況が確認できるだろうとしている。

5月22日に発表された第1四半期決算書によると、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済の先行き不安からブリーチン商品の需要が世界的に増え、第1四半期のゴールド需要は 198,100 オンス (2019年同期は123,800オンス)、シルバー需要は、昨年の550万オンスから660万オンスに増加。

(ソース: <https://resourceworld.com/near-record-level-of-consumer-interest-in-precious-metals/>)

新型コロナ、ディーゼル車、パラジウムの代替で、プラチナ有利な状況に

Mining Weeklyによると、新型コロナウイルス感染症の拡大、ディーゼル車への新たな注目、パラジウムの代替材料としての価値、そして先細りする供給といった要因などから、低迷が続いていたプラチナを取り巻く状況は徐々に有利なものになりつつある。

バッテリー電池自動車普及のためのインフラ整備に必要な資金繰りが新型コロナウイルス感染症の拡大で困難さを増している中、排ガス規制を十分クリアできるプラチナを使うマイルドディーゼルハイブリッド車の需要が伸びている。また高価なパラジウムの代替となる安価なプラチナの存在感が増す一方で、プラチナ生産大手のアングロ・アメリカン・プラチナムの生産再開の遅れから供給への不安が払拭できないでいる。

このような要因からプラチナの価格上昇が期待できる機運が高まっている。

(ソース: https://www.miningweekly.com/article/covid-diesel-substitution-nudging-platinum-into-sweeter-spot-2020-06-04/rep_id:3650)

エネルギー業界の大物らによる水素技術投資ファンド

地球温暖化阻止に向けて燃料電池技術を含む政府レベルの戦略が多数出てきている中で、エネルギー業界の大物らが水素技術に焦点を当てた投資ファンドを立ち上げることが明らかになった。

その一つ、HydrogenOne Capitalは、前ロイヤル・ダッチ・シェル(RDSoL)重役のJJ Traynor氏 と エクソン・モービル(XOM.N) からArtemis のファンドマネジャーとなったRichard Hulf氏が立ち上げたもの。

ロイターが入手した投資家向け資料によると、ファンドは2億5000万ポンド (3億1500万ドル)で、今年末までにロンドンで設立される。実現すれば世界で初の水素技術に特化した投資ファンドとなると、Traynor氏。

パークレイのアナリストの予測では、水素需要は、2050年までに年間5億7500万トンと8倍に増え、1兆ドル以上の市場に成長すると見られている。

(ソース: <https://jp.reuters.com/article/us-hydrogen-fund/energy-industry-veterans-to-launch-hydrogen-investment-fund-idINKBN24A1X4>)

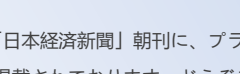
(Translated by Kazuko Osawa, JBMA)

WPIC直近の活動

- 7月8日の「日本経済新聞」朝刊に、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) のアジア太平洋地域代表である鄧偉斌 (トウイビン) 氏より中国プラチナ投資市場の状況についてのインタビューがごさいます。どうぞご覧ください。
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZQ61204460W0A700C2QM8000/>

- 7月11日の「日本経済新聞」朝刊に、プラチナ投資初心者向けの紹介記事を掲載されております。どうぞご覧ください。
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ061372890Q0A710C2PPD000/>

- WPICのオフィシャルFacebookとTwitterアカウントを開設されました。下記QRコードでフォローのほど、何卒よろしくお願いたします。



(@wpicjapan)